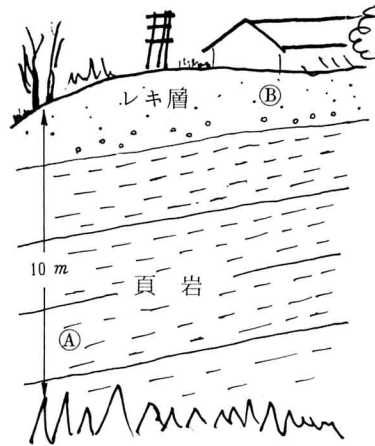


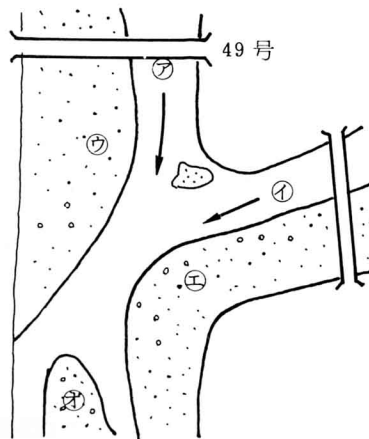
(3) 地層に近づいて、その特徴を観察する。

①は淡黄褐色の層理の発達した頁岩層で、表面は、風化するとうすく、細かくはがれやすい性質があり、この地層は新第三紀の下部に相当します。

②のレキ層は水を含む地層で、段丘性たい積物からなる地層で第四紀のものです。



2. 川原のようすと流水のはたらき



(1) 調べる場所

好間川の町田橋の近く

(2) 土手から、川原のようすや水の流れを観察する。

① 川原のようすや水の流れの全景をスケッチする。

② 川原につもっている砂レキがけずられているのは、水の流れが曲がっている付近の内側か、外側か。

(3) 川原に下りて流水のはたらきを調べる。

① ⑦と④で、どちらが水の流れが速いか、それぞれ20mの長さを取り、速さを測ってみる。

② 川底を水中のぞき箱でのぞき、